

2015年4月3日
日産化学工業株式会社

2015年度入社式 社長あいさつ(要旨)

新入社員の皆さん、入社誠におめでとうございます。

本日新たに35名の仲間をわが社に迎えたことを大変嬉しく思います。グループ2,300名を代表し、心から歓迎の意を表します。

社会人としての第一歩を踏み出された皆さんに、社長そして、社会人の先輩として、心掛けてほしいこと、心に留めてほしいことを3つお話します。

1. 誠実であること

当社は、社風、企業風土として「誠実に、愚直に」を大事にしています。私たちは化学会社の一員として、技術系・事務系を問わず、サイエンス、ケミカルに関わって仕事をしています。サイエンス、ケミカルは自然法則の上に成り立ち、手を抜くと必ずほころびが出るものであり、絶対にごまかすことができません。このことを常に念頭に置いてください。企業人としてコンプライアンスをはじめとする高い倫理感を持つことは当然ですが、誠実に、愚直に、一生懸命に取り組むことでしか成果を得ることが出来ないことを肝に銘じていただきたい。

2. 「変化は進化だ」ということ

これは、私の入社以来の信念でもあります。市場は現状に留まる企業に、容赦なく撤退を迫ってきます。企業は成長、発展を続けるために、イノベーション、変革を追い求めます。しかし、これらは過去の延長から生まれるものではありません。変革を成し遂げるためには、現状に疑問を持ち、打破しなければなりません。つまり、目の前の業務を前と同じようにやらない。これには、非常に多大な労力を要しますが、感受性豊かな若い皆さんには十分なエネルギーが必ずあると信じています。是非、変革にチャレンジして下さい。

3. 仕事を好きになること

私は入社後、今の仕事が自分にとって天職か否かで随分悩みました。考えても分からないので、徹底的に仕事をして、面白くしてみようと割り切ることにしました。試行錯誤を繰り返し、ようやく今の仕事こそ天職だと気づきました。今振り返ってみると、悩みながら自分の天職、使命とは何かを探す、このプロセスを経験することが大事だと感じています。仕事を天職とする、また、この先皆さんを待ち受けている幾多の困難を乗り越える秘訣は、唯一、仕事を好きになることです。皆さん、徹底的に仕事をして、好きになっていただきたい。好きこそ物の上手なれ、そういうことではないでしょうか。

最後に「Extra effort makes difference between good and great.」という言葉をご紹介します。今日から始まる長い会社生活のなかで、この言葉を胸に努力することが、皆さんの将来を大きく

変えることになるかもしれません。

これからも当社グループは、存在感のある化学会社としてさらなる飛躍を目指し、いかなる難局にも立ち向かい、未来を切り開いていかねばなりません。大きな目標に向かって、改めて共に頑張っていきたいという歓迎の気持ちをお伝えして、私からのあいさつとします。

社長 木下 小次郎